



QRコードから、ぜひ印刷労連のHPもご覧ください。

連合印刷労連 労働相談ダイヤル  
 03-5442-0191

## 連合メーデーが開催されました!

全国各地で連合メーデーが開催され、「一人ひとりが尊重される 多様性を認め合う社会をめざし みんなが輝く未来をつくろう!」のスローガンのもと、印刷労連の対応として各地方協議会が参加してきましたので報告します。

### メーデー中央大会(本部・関東南部地方協議会)

過去2年はオンラインでの開催でしたが、4月29日(金)に今年は参加者を5,000人に制限した上で会場での実施となり、本部および関東南部地方協議会を中心に約50名が参加しました。

主催者の連合・芳野会長は「非正社員やフリーランスが働く環境の改善も必要であり、雇用と暮らしを守り、将来の希望につなげることが重要だ」と訴えました。

また、ウクライナ出身のドゥブニコバ・ヤナさんから「新生児を殺す戦争を始める人、妊婦を殺す戦争を応援する人、病院や学校を壊す戦争に協力する人、地球を滅ぼす戦争から利益を得る人たちを許してはならない。それらの人は一生償っても償い足りない大罪を犯している。」と切実な訴えがあり、参加者は改めて即時の紛争終結とウクライナ国民への連帯の気持ち、世界の恒久平和に向けた想いを一つにしました。それぞれのアピールに対し、参加者はアピールクロスを一同に振り想いを共有しました。【報告者 関東南部地方協議会 川尻議長】



### メーデー宮城県大会(宮城地方協議会)

4月29日(金)に3年ぶりの開催となり、コロナ感染拡大を踏まえ、人数制限をの会场リアルとリモートの併用となりました。宮城地方協議会としては、各構成組織の感染対策指針状況を考慮し、単組ごとにリモート参加での出席としました。

式典は3部構成となっており、第1部はメーデー式典、第2部は全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)の事務局長・明城徹也氏より「東日本大震災から進化する災害支援～地域の対応力強化に向けて～」と題してWebでの特別公演がありました。直近でも3月16日の夜に発生した、福島県沖最大震度6強の地震で被災した事もあり、改めて防災及び災害発生時の被災者支援について考えさせられる内容でした。

第3部では特別イベントとして、メーデー出張寄席と題し落語家の「六華亭 遊花氏」の落語が行われました。合間の休憩時間には過去のメーデー大会のスライド上映が流れており、今までにない形のメーデー宮城県大会となりました。

【報告者 宮城地方協議会 藤井議長】



## 埼玉県中央メーデー(関東北部地方協議会)

4月29日(金)にときわ会館(さいたま市)からのYouTubeオンライン配信で開催しました。関東北部地方協議会からは、嵯峨議長が現地(ときわ会館)スタッフとして参加しております。

式典前には埼玉県のラジオ局NUCK5でレギュラーパーソナリティーを務める、三遊亭鬼丸氏が、「私の好きな埼玉」のお題に対して、組合員から応募のあった、グルメや風景などの投稿を三遊亭鬼丸氏がユーモア交えながら紹介する形式でオープニングイベントが行われ、埼玉県の魅力をアピールしました。

式典では「一人ひとりが尊重される 多様性を認め合う社会をめざし みんなが輝く未来をつくろう！」のスローガンのもとに連合埼玉・近藤会長はじめ、参議院候補予定者など来賓の挨拶がありました。続いてリレーメッセージとして医療従事者へのエール、震災避難者へのエール、働く人へのありがとうメッセージが発信されました。最後にメーデースローガンとメーデー宣言が行われ、働く仲間の笑顔のために「支えあう心」で感謝と思いやりの絆をつなぎ、希望あふれる未来を切り拓くことを誓いました。【報告者 関東北部地方協議会 龍口事務局長】



## 茨城県中央メーデー(関東北部地方協議会)

4月23日(土)に水戸市三の丸庁舎広場で開催されました。新型コロナウイルスの影響で2020年から2年連続でオンライン形式にて行っておりましたが、集会形式では3年ぶりの開催となり、約500人が参加、印刷労連からはトッパンプロスプリント労組から5名が参加しました。「一人ひとりが尊重される 多様性を認め合う社会をめざし みんなが輝く未来をつくろう！」というスローガンのもと、街頭パレードは行われませんでした。式典、ウクライナ支援募金、フードライブの取り組みを会場で行われ、繋がること、団結することの重要性を再認識しました。

【報告者 トッパンプロスプリント労組 柳本委員長】

## 沼駿三田地域協議会メーデー(関東南部地方協議会)

4月29日(金)に式典は三島市民文化会館、イベントを楽寿園にて、コロナ感染対策のため規模を縮小し開催しました。

印刷労連として図書印刷労組から7名が参加、式典には約490名が集結しました。式典では「コロナ禍からの復興 組合員だけでなく、まちの活力向上に役立つメーデー」をスローガンに「つながること、団結すること」の重要性を再認識しました。

また、イベントでは、組合員の家族も楽しめる様、模擬店やバザーなどを実施し、移動水族館やお笑い芸人によるライブも開催しました。来場者には、豪華?景品も当たる抽選券を配布し、5月の沼駿地区幹事会で抽選をしていく予定です。

【報告者 図書印刷労組 重松書記長】



## 三多摩地区メーデー(関東南部地方協議会)

4月29日(金)に立川市民運動場にて開催され、印刷労連としてフォームズユニオンから25名が参加しました。一般組合員動員としては3年振りの開催となり、天気が危ぶまれる中、第一部の式典が開会し、主催者挨拶、来賓紹介・挨拶の後、スローガン発表、メーデー宣言が確認されました。第二部ではイベントとして、フォークソングバンドと小学生主体のチアリーディング3団体のダンスが披露されました。そして、第三部では恒例のお楽しみ抽選会が行われ、フォームズユニオン参加者からはなんと2等当選者がでて、豪華景品をゲットし、大きな盛り上がりみせ、無事に全工程が終了しました。

【報告者 トッパン・フォームズフレンドシップユニオン 細谷書記長】



## 石川県統一金沢中央大会(石川地方協議会)

5月1日(日)に第93回石川県統一メーデー金沢中央大会が、金沢市のいしかわ四高記念公園で行われました。

当日は、肌寒い雨模様のなか、石川地方協議会から10名が参加し、全体では約500名の規模となり、集会では、冒頭、連合石川・福田会長からは、春闘結果が原材料高、円安で台無しになると訴えがあり、夏の参議院選では、政府の低金利政策を問わなければならないと強調がありました。その後、新石川県知事・馳浩氏、新金沢市長・村山卓氏等から挨拶があり、最後に「がんばろう三唱」で拳を突き上げ締めくくられました。【報告者 石川地方協議会 宮岸事務局長】



## 長野県中央メーデー(長野地方協議会)

5月1日(日)に長野市芸術会館メインホールで『働く者の連帯で「ゆとり・豊かさ・公正な社会」を実現し、自由で平和な世界を作ろう!』をスローガンに開催され、会場には実行委員と来賓以外の限定出席者の他は、ZoomとYouTubeによる参加方式で行われ1,500名を超える視聴参加が報告され、印刷労連からも長野地方協議会として5名が参加しました。

主催者代表である連合長野・根橋会長と来賓者の長野県知事・阿部守一氏、そして参議院議員・杉尾秀哉氏の3人が挨拶の中で共通して言われた、ロシアのウクライナ軍事進攻に関するコメントがありました。

今年もエッセンシャルワーカーからの現状・課題の報告もありコロナによる労働者の苦悩や、人手不足による過労、非正規職員の低所得の指摘などの報告もありました。今年も参集こそありませんでしたが、長野県内各地でメーデーが中止になった地域から長野中央メーデーへWeb参加によって、距離や場所を越えた新しい参加型春闘が行われた事により労働者の連帯感がありました。

【報告者 長野地方協議会 和田議長】



## 京都中央メーデー(京滋地方協議会)

4月29日(金)に梅小路公園にて3年ぶりに開催されました。

当日はあいにくの大雨となり、京滋地方協議会からは2労組4名の参加となりました。全体では約2,200名の参加者のもと「一人ひとりが尊重される 多様性を認め合う社会をめざし みんなが輝く未来をつくろう!」をメインテーマに式典が行われ、with/afterコロナの中でも安心・安全に働ける環境の実現を目指した「メーデー宣言」が採択されました。

また、夏の参議院選での必勝を誓う特別決議も採択され、「がんばろう三唱」で締めくくられました。毎年恒例のお楽しみ大抽選会も、雨の中にもかかわらず大いに盛り上がりました。

【報告者 京滋地方協議会 川端議長】



## 滋賀県労働者統一メーデー(京滋地方協議会)

4月29日(金)に県下4会場で開催されました。昨年、一昨年はコロナの感染拡大の影響により中止を余儀なくされましたが、今年度は規模を縮小したかたちではあるものの、3年ぶりの集合形式での開催となり、印刷労連としては、近江八幡市のG-NET滋賀で開催の4区地域メーデー集会に凸版印刷労組より4名が参加しました。

当日は朝から雨模様で、式典においてはメーデー宣言・地域アピールが採択され、会場には東日本大震災のパネル展示が行われました。式典の最後には参加者全員で「がんばろう三唱」を行い、心を一つにしました。

時間が経つほどに強まる雨の中ではありませんでしたが、式典終了後には会場から近江八幡駅までの区間で街頭行動を行いました。規模縮小での開催ではありませんでしたが、様々な産別で働く労働者が一つとなる集会となりました。

【報告者 京滋地方協議会 太田事務局長】



## 大阪地方メーデー(大阪地方協議会)

5月1日(日)に大阪城公園「太陽の広場」にて、コロナ禍でもあるため、3年ぶりにリアル参加者を絞った形で、インターネットと同時配信がされ、開催されました。

主催者代表あいさつでは、連合大阪・田中会長から『「平和・幸せ・道ひらく」～安心社会へ新たなチャレンジ～』として第33年度の大会スローガンに触れ、コロナ禍、ウクライナ危機と歴史的な転換点に直面する中、このスローガンの持つ意義はさらに高まっていると述べました。そして、すべての労働者、生活者を代表して、働く仲間すべての幸せの実現に向け、大阪城公園に結集いただいた多くの仲間、オンラインで参加をいただいている多くの仲間とともに、力強く労働運動を展開していくことを誓いあうとの力強い決意がありました。

また、当日はあいにく雨の中での開催でしたが、ウクライナ支援カンパ箱の設置や、ニフレル・サンタマリア号の斡旋チケットの販売、お楽しみ抽選会の応募もあり、働く者の祭典を盛り上げました。

【報告者 大阪地方協議会 大上事務局長】



## 福岡メーデー(福岡地方協議会)

4月29日(金)に昨年同様、福岡市の舞鶴公園「鴻臚館広場」にて第93回福岡メーデーが開催されました。スローガンは『一人ひとりが尊重される 多様性を認め合う社会をめざし みんなが輝く未来をつくろう!』です。今年の福岡メーデーも、新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえ、例年の半分の人数で会場スペースを広くとり3年ぶりに「集成型」で開催されました。悪天候にてデモ行進は実施できませんでしたが、バスを飾り付けした「手作り装飾バス」が準備され、連合福岡ニュースカーを連ねたメーデーアピール街宣行動が行われました。  
【報告者 福岡地方協議会 馬場議長】



## メーデー肥後有明集会(熊本地方協議会)

4月29日(金)に荒尾市グリーンランド レインボードームで開催されました。今回は地協結成10周年という節目でもあり、4年振りのグリーンランド開催となりましたが、当日はあいにくの天気・・・というより嵐の中での開催となり、またコロナ感染者数下げ止まりの影響もあって定員の1,500名には至りませんでした。大勢が参加する集会となりました。熊本地方協議会としてはコロナ禍の影響や連休での感染拡大を鑑みて2名での参加となりました。スローガンである『一人ひとりが尊重される 多様性を認め合う社会』を目指すべく、連合熊本肥後有明地域協議会・馬場議長から、働き方の変革における個人・個性を尊重する事の重要性や昨今の急激な社会情勢の変化に向き合っていく事に対して熱い決意表明を頂きました。  
最後に参加者全員で「がんばろう三唱」の掛け声とともに連合熊本肥後有明地域協議会の一致団結を誓うと、天候も味方したのか雨も上がりました。  
【報告者 熊本地方協議会 宮田議長】



## 連合高知メーデー

4月24日(日)に吉川漁港広場にて行われました。下火ではありましたがコロナ禍ということで時間短縮・大声禁止での開催でしたが、参加人数は約300名、印刷労連からは凸版印刷労組より4名が参加しました。久しぶりのリアル開催(参加)でしたがあいにくの雨でした。  
開会挨拶・主催者挨拶では暮らしの底上げ、ウクライナ情勢含めた平和の重要性などが訴えられました。また、来賓の立憲民主党・武内則男氏の挨拶については、高知では自民党が強く立憲民主党は苦戦していること、これからさらに地元密着で頑張っていくなどの意気込みが宣言されました。  
天候も悪かったので現地へ赴く足取りは重かったですが、リアル開催を懐かしく感じましたし、大会後に参加者と昼食をともにできたことは良かったと感じています。  
【報告者 凸版印刷労組オルタス分会 大崎分会長】



働くを支える暮らしに備える生活を豊かに ★印刷労連 ★全労済 ★労働金庫

「たすけあいの輪をむすぶ」  
こくみん共済 coop は、次のステージへ

こくみん共済	留保生命共済
火災共済	自然災害共済
総合医療共済	せいの共済
マイカー共済	自賠責共済
交通災害共済	新ネット・移行共済

こくみん共済(全労済)



あなたの身近に潜む  
マネートラブル

解決しよう

特設サイトで動画をチェック!  
[https://all.rokin.or.jp/money\\_literacy/](https://all.rokin.or.jp/money_literacy/)

### － 編集後記 －

メーデー記事提供にあたり、ご協力いただいた担当の方へ、感謝申し上げます。今年のメーデーは、規模は縮小しながらもリアルで開催された地区が多くありました。一歩ずつではありますが、対面での取り組みが戻ってきたと実感しています。6月は、唯一祝日がない月ということと、梅雨の時期がやって参ります。この時期から

熱中症に注意する必要がある、真夏の場合は汗によって体温調節ができずにかかりやすいようですが、梅雨時は汗だけでなく、まわりの湿度によってもその症状がでるそうです。梅雨時は気分がすぐれないこともあると思いますが、健康と安全第一で、明るく元気に乗り切っていきましょう。  
【教育広報委員 大上隆史】